

平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月3日

上場会社名 静岡ガス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9543 URL http://www.shizuokagas.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 戸野谷 宏
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部 (氏名) 中村 暢秀 TEL 054-284-7990
 経理担当マネジャー
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 平成28年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	60,883	△26.4	11,077	25.2	11,412	30.4	7,632	37.6
27年12月期第2四半期	82,746	△3.2	8,844	101.9	8,750	82.9	5,546	92.5

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 5,951百万円 (△17.6%) 27年12月期第2四半期 7,221百万円 (118.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	103.47	103.33
27年12月期第2四半期	75.23	75.14

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	108,929	77,598	64.5
27年12月期	115,466	73,148	56.5

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 70,313百万円 27年12月期 65,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
28年12月期	—	6.50	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,160	△23.9	9,710	△16.0	10,200	△15.4	6,610	△13.5	89.61

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。）

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年12月期2Q	76,192,950株	27年12月期	76,192,950株
28年12月期2Q	2,422,180株	27年12月期	2,464,080株
28年12月期2Q	73,756,930株	27年12月期2Q	73,728,912株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、平成28年8月5日に機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

(参考) 個別業績予想

平成28年12月期の個別業績予想 (平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,660	△27.3	8,530	△8.1	6,680	△10.0	90.55

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
4. 参考情報	10
ガス販売量(個別)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成28年1~6月)の売上高は、前年同期に比べ26.4%減の608億円となりました。

一方、原油価格下落に伴い原材料費が大きく減少したことから、営業利益は前年同期に比べ25.2%増の110億円、経常利益は30.4%増の114億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は37.6%増の76億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、下記のセグメント別業績数値には、セグメント間の内部取引を含んでおります。

①ガス

ガス販売量は、平成27年10月からの静浜幹線全線稼働による卸販売の増加等により、前年同期に比べ6.8%増の742百万 m^3 となりました。

売上高は、原料費調整制度によるガス販売単価の下方調整等により、前年同期に比べ29.2%減の518億円となりました。また、原油価格下落に伴い原材料費も減少したことなどから、セグメント利益(営業利益)は24.0%増の119億円となりました。

②LPG・その他エネルギー

売上高は、LPG販売でのガス販売単価の低下等により、前年同期に比べ8.7%減の55億円となりました。一方、売上原価も原油価格の下落等により減少したことなどから、セグメント利益(営業利益)は前年同期に比べ27.0%減の4億円となりました。

③その他

売上高は、ガス機器販売及び受注工事の増加等により、前年同期に比べ4.3%増の62億円となり、セグメント利益(営業利益)は44.6%増の2億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、株式市況の影響による投資有価証券の評価額の減少や、LNG価格下落に伴う売掛金や原材料の減少等により、前連結会計年度末に比べ65億円減の1,089億円となりました。

負債は、原料代金決済のタイミングによる買掛金の減少や長期借入金の返済が進んだことなどにより、前連結会計年度末に比べ109億円減の313億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ44億円増の775億円となり、自己資本比率は64.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ14億円増の114億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、109億円の収入(前第2四半期連結累計期間は173億円の収入)となりました。

これは、仕入債務が減少したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は59億円の支出(前第2四半期連結累計期間は33億円の支出)となりました。これは、リロード設備及び発電設備建設工事等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は33億円の支出(前第2四半期連結累計期間は117億円の支出)となりました。これは、長期借入金の返済や配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、また第3四半期以降の原油価格及び為替レートの想定を見直したことなどにより、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(平成28年8月3日)公表いたしました「平成28年12月期第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

(参考) 原油価格・為替レートの想定

原油価格 (全日本CIF)	前回想定	60ドル/bbl (第3～4四半期)
	今回想定	50ドル/bbl (第3～4四半期)
為替レート	前回想定	125円/ドル (第3～4四半期)
	今回想定	105円/ドル (第3～4四半期)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しています。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務表に反映させる方法に変更しています。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っています。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しています。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	13,413	12,668
供給設備	37,100	36,148
業務設備	5,316	5,198
その他の設備	4,110	6,098
建設仮勘定	2,518	2,824
有形固定資産合計	62,458	62,939
無形固定資産	1,069	968
投資その他の資産		
投資有価証券	12,814	9,686
長期貸付金	7,867	7,536
繰延税金資産	404	474
その他投資	1,565	1,665
貸倒引当金	△126	△129
投資その他の資産合計	22,525	19,233
固定資産合計	86,053	83,141
流動資産		
現金及び預金	10,024	11,452
受取手形及び売掛金	10,771	8,398
商品及び製品	276	213
原材料及び貯蔵品	4,952	2,804
繰延税金資産	676	647
その他流動資産	2,750	2,302
貸倒引当金	△40	△30
流動資産合計	29,412	25,788
資産合計	115,466	108,929

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
固定負債		
長期借入金	13,688	12,454
繰延税金負債	690	103
退職給付に係る負債	4,033	3,719
その他固定負債	156	123
固定負債合計	18,569	16,400
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	5,272	4,491
買掛金	8,084	3,401
未払金	3,845	1,329
未払法人税等	3,166	3,422
賞与引当金	456	459
その他流動負債	2,921	1,824
流動負債合計	23,748	14,929
負債合計	42,317	31,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,279	6,279
資本剰余金	4,626	4,644
利益剰余金	50,709	57,899
自己株式	△1,252	△1,230
株主資本合計	60,363	67,592
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,893	2,880
繰延ヘッジ損益	△39	66
為替換算調整勘定	△180	△418
退職給付に係る調整累計額	186	192
その他の包括利益累計額合計	4,859	2,720
新株予約権	70	79
非支配株主持分	7,854	7,205
純資産合計	73,148	77,598
負債純資産合計	115,466	108,929

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	82,746	60,883
売上原価	60,630	36,896
売上総利益	22,116	23,987
供給販売費及び一般管理費	13,271	12,909
営業利益	8,844	11,077
営業外収益		
受取利息	79	72
受取配当金	97	100
持分法による投資利益	—	115
雑収入	227	179
営業外収益合計	404	468
営業外費用		
支払利息	148	126
持分法による投資損失	333	—
雑支出	17	6
営業外費用合計	499	133
経常利益	8,750	11,412
特別利益		
固定資産売却益	278	—
特別利益合計	278	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	86
特別損失合計	—	86
税金等調整前四半期純利益	9,029	11,326
法人税等	2,950	3,235
四半期純利益	6,078	8,091
非支配株主に帰属する四半期純利益	531	458
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,546	7,632

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	6,078	8,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,177	△2,014
繰延ヘッジ損益	△34	106
退職給付に係る調整額	0	6
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△237
その他の包括利益合計	1,143	△2,139
四半期包括利益	7,221	5,951
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,688	5,493
非支配株主に係る四半期包括利益	533	458

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,029	11,326
減価償却費	5,050	4,899
有形固定資産除却損	20	51
有価証券評価損益(△は益)	—	86
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	△7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△360	△307
賞与引当金の増減額(△は減少)	1	2
受取利息及び受取配当金	△177	△173
支払利息	148	126
持分法による投資損益(△は益)	333	△115
有形固定資産売却損益(△は益)	△278	—
売上債権の増減額(△は増加)	2,749	2,370
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,991	2,209
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,142	△4,655
未払又は未収消費税等の増減額	2,050	△1,995
その他	1,278	△5
小計	18,684	13,813
利息及び配当金の受取額	177	173
利息の支払額	△153	△152
法人税等の支払額	△1,346	△2,888
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,360	10,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△13	△13
定期預金の払戻による収入	13	13
有形及び無形固定資産の取得による支出	△3,549	△6,338
有形及び無形固定資産の売却による収入	288	9
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
貸付金の回収による収入	97	331
工事負担金等受入による収入	—	263
その他	△184	△230
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,352	△5,969
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,221	—
長期借入れによる収入	—	1,100
長期借入金の返済による支出	△3,134	△2,956
配当金の支払額	△368	△442
非支配株主への配当金の支払額	△1,065	△1,093
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,789	△3,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,211	1,427
現金及び現金同等物の期首残高	446	9,999
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,657	11,426

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	72,542	5,946	78,489	4,257	82,746	—	82,746
セグメント間の内部 売上高又は振替高	659	127	787	1,769	2,557	△2,557	—
計	73,202	6,074	79,276	6,027	85,304	△2,557	82,746
セグメント利益	9,668	650	10,318	192	10,511	△1,666	8,844

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,666百万円には、セグメント間取引消去125百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,792百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガス	LPG・ その他 エネルギー	計				
売上高							
外部顧客への売上高	51,246	5,438	56,684	4,198	60,883	—	60,883
セグメント間の内部 売上高又は振替高	577	110	688	2,085	2,773	△2,773	—
計	51,824	5,548	57,373	6,284	63,657	△2,773	60,883
セグメント利益	11,993	474	12,467	278	12,746	△1,669	11,077

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受注工事及びガス機器販売事業、リフォーム事業、リース事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,669百万円には、セグメント間取引消去118百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,787百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 参考情報

ガス販売量(個別)

		前第2四半期 (27/1~27/6)	当第2四半期 (28/1~28/6)	増減	増減率(%)	
お客さま数		戸	315,573	317,016	1,443	0.5
ガス 販 売 量	家庭用	百万m ³	52	51	△1	△2.3
	商業用	〃	17	16	△1	△3.7
	工業用	〃	315	316	0	0.1
	その他用	〃	15	16	0	1.2
	卸供給	〃	287	335	48	16.7
	合計	〃	687	734	47	6.8
大口販売量		〃	311	311	0	0.1

- (注) 1 「お客さま数」は、期末取付メーター数を記載しております。
 2 「お客さま数」には、卸供給先のお客さま数は含みません。
 3 販売量は1m³当たり45MJ換算し、表示単位未満を四捨五入しております。

以上